

8 消防費

1 消防費 1 常備消防費

〔担当：消防本部 総務課〕 P. 355

0501 消防総務事務に要する経費 24,983,799 円 (24,295,643 円)

〔その他 393,660 円 一財 24,590,139 円〕

＊ 特財内訳

〔手数料：危険物許認可手数料 392,250 円〕

〔手数料：コピー手数料 1,410 円〕

○ 目的

各種災害や住民ニーズに的確かつ効果的に対応するため、消防行政事務の円滑な推進を図る。

○ 内容

各種災害の被害を軽減するため、防火衣及び AED リース並びに災害対応用資機材等を更新し、消防サービスの向上に努めた。

・ 自動体外式除細動器リース料 2,364,780 円

市内の公共施設、小・中学校、コンビニエンスストアなどに 104 台を設置した。

・ 防火衣リース料 6,620,724 円

消防活動のため、166 着を消防職員に貸与した。

・ 消防用備品 1,830,950 円

水難救助資機材、ガス検知器、化学防護服、軽量ポンペを整備した。

○ 効果

消防行政事務の適正な執行と併せて、効率的な消防活動を展開することができた。

〔担当：消防本部 総務課〕 P. 359

2201 消防庁舎の管理運営に要する経費 28,074,204 円 (29,643,693 円)

〔その他 1,245,000 円 一財 26,829,204 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 880,000 円〕

〔諸収入：いばらき消防指令センター基地局電気使用料 365,000 円〕

○ 目的

防災の拠点施設である消防庁舎の整備及び適正な管理運営を図る。

○ 内容

消防庁舎施設の修繕及び工事並びに庁舎設備の維持管理のため各種業務委託を行った。

・ 橿木消防署屋外照明設置工事 1,254,000 円

○ 効果

桐木消防署屋外照明設置工事が計画期間内に完了し、屋外訓練場における訓練の安全管理の改善が図られた。また、各種点検業務委託等により、庁舎を始め各設備を適正に維持管理することができ、防災拠点施設としての機能が確保され、職場環境の充実が図られた。

〔担当：消防本部 総務課〕 P. 359

2301 消防自動車等の維持管理に要する経費 57,568,257 円（13,812,995 円）

〈41,800,000 円〉※〈 〉は、うち5年度繰越分

〔その他〈41,800,000 円〉 一財 15,768,257 円〕

＊ 特財内訳

〔繰越金：前年度繰越金〈41,800,000 円〉〕

○ 目的

火災及び救助等の災害時に出動する消防自動車等が、十分な能力を発揮できるよう適切な維持管理を行う。

○ 内容

令和5年度からの事業である、梯子車の安全性や性能を維持するためのオーバーホールが、令和6年度に完結した。

- ・梯子車オーバーホール 41,800,000 円

○ 効果

災害時に重要な梯子車の総合的保守点検と整備を行い、また消防業務の根幹をなす消防自動車等を適正に維持管理することにより、消防活動の円滑化と消防体制の充実強化が図られた。

〔担当：消防本部 総務課〕 P. 361

3401 いばらき消防指令センターに要する経費 38,699,164 円（23,561,324 円）

〔地方債 9,600,000 円 その他 5,524 円 一財 29,093,640 円〕

＊ 特財内訳

〔地方債：防災対策事業債 10,762,000 円×90%≒9,600,000 円〕

〔諸収入：いばらき消防指令センター設備保険料受入金 5,524 円〕

○ 目的

県内20消防本部（33市町）が共同運用する消防指令管制業務により、業務の効率化を推進するとともに、各消防本部の連携及び情報共有を可能とすることで、隣接地域や大規模災害時における相互応援体制の充実強化を図る。

○ 内容

いばらき消防指令センターの維持管理に必要な負担金である。また、令和6年度から令和7年度にかけて、AVM（車両動態表示）の更新を行う。

取手市分負担金 38,541,840 円

うち AVM 更新事業分 10,817,000 円

○ 効果

近年の大規模災害の頻発により消防防災力の強化が求められている状況のなか、災害情報の一元化による迅速で的確な災害対応の実現及び高機能な通信システムによる消防業務の高度化が図られた。

1 消防費 2 救急業務費

〔担当：消防本部 警防課〕 P.361

0501 救急業務に要する経費 8,183,549 円（17,178,749 円）

〔一財 8,183,549 円〕

○ 目的

救急需要の増加及び救急業務の高度化に対応するため、救急資器材及び医薬材料等の適正な供給や維持管理を図る。また、救急隊員の感染防止のため、消耗品の確保や予防接種を実施する。

○ 内容

救急活動に必要な感染防止衣等の消耗品、アドレナリンやブドウ糖等の医薬材料及び救急資器材を購入した。

○ 効果

救急事案に対して救急資器材及び医薬材料等を有効に活用し、傷病者を迅速かつ安全に医療機関へ搬送することができた。また、救急隊員の二次感染防止が図られた。

1 消防費 3 非常備消防費

〔担当：消防本部 総務課〕 P.363

2001 消防団員に要する経費 43,814,303 円（42,066,992 円）

〔その他 8,845,810 円 一財 34,968,493 円〕

＊ 特財内訳

〔諸収入：消防団員退職報償金受入金 8,794,000 円〕

〔諸収入：消防団福祉共済返戻金 51,810 円〕

○ 目的

消防団員の処遇及び福利厚生の充実を図る。

○ 内容

消防団員の報酬をはじめ、消防団員退職報償金及び消防団員等公務災害補償共済負担金等の各種負担金と被服の貸与である。

消防団員の定数 552 人 実数 470 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

○ 効果

消防団の諸活動をはじめ、地域における自主活動にも積極的に参加する等、消防団員の地域に密着した活動がさらに定着した。

〔担当：消防本部 総務課〕 P.365

2101 消防団の運営に関する経費 41,841,483 円 (43,774,578 円)

〔地方債 21,000,000 円 その他 5,571,986 円 一財 15,269,497 円〕

＊ 特財内訳

〔市債：消防防災設備整備事業債 22,194,000 円 $\times 1/2 \times 100\% \rightleftharpoons 11,000,000$ 円〕

〔市債：消防防災設備整備事業債

(22,194,000 円 $- 11,000,000$ 円) $\times 90\% \rightleftharpoons 10,000,000$ 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,288,000 円〕

〔繰入金：地域振興基金繰入金 4,170,000 円〕

〔諸収入：消防団施設光熱水費使用料 113,986 円〕

○ 目的

消防団の充実した運営と消防団施設等の整備及び適正な維持管理を図る。

○ 内容

消防団運営の維持、活性化及び活動能力向上のため、第7分団（青柳、青柳1丁目、井野、井野1～3丁目、井野団地）の消防ポンプ自動車を更新した。

・消防ポンプ自動車 22,388,800 円

○ 効果

消防団車両等の更新整備により、消防団活動環境の向上及び地域防災力の強化が図られた。

〔担当：消防本部 総務課〕 P.367

2102 全国消防操法大会に関する経費 2,673,460 円

〔その他 1,540,000 円 一財 1,133,460 円〕

＊ 特財内訳

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,540,000 円〕

○ 目的

令和5年度茨城県消防操法大会で優勝した第26分団（台宿、台宿1・2丁目、取手3丁目・東3～6丁目・東5丁目の一部）が、茨城県代表として第30回全国消防操法大会へ出場するための経費である。

○ 内容

訓練及び大会に必要な消耗品や備品の購入等

・操法訓練報酬	565,000 円
・旅費	533,420 円
・消耗品（吸管・ホース・靴・手袋・管そう）	658,600 円
・食糧費	139,660 円
・有料道路使用料	65,630 円
・備品購入費（のぼり旗・角型水槽）	711,150 円

○ 効果

取手市消防団初の全国消防操法大会出場に際し、訓練成果を十分に発揮できるよう万全の支援を行ったことで、取手市消防団全体の活性化及び地域への広報効果が得られた。

1 消防費 4 消防施設費

〔担当：消防本部 警防課〕 P. 367

2201 消防施設の整備に要する経費 184,115,920 円（74,588,920 円）

〔地方債 171,400,000 円 その他 12,458,000 円 一財 257,920 円〕

*** 特財内訳**

〔市債：消防防災設備整備事業債 177,987,000 円 $\times 1/3 \times 100\% \rightleftharpoons 59,300,000$ 円〕

〔市債：消防防災設備整備事業債

$(177,987,000 \text{ 円} - 59,300,000 \text{ 円}) \times 90\% \rightleftharpoons 106,800,000 \text{ 円}]$

〔市債：緊急防災・減災事業債 5,357,000 円 $\times 100\% \rightleftharpoons 5,300,000$ 円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 12,458,000 円〕

○ 目的

救助工作車の更新及び災害対応ドローンの導入により、消防体制の充実強化を図る。

○ 内容

取手消防署に配備されていた平成 12 年式救助工作車を更新するとともに、消防本部に新たに災害対応用空中ドローンを導入した。

・救助工作車 178,758,920 円

・災害対応ドローン 5,357,000 円

○ 効果

最新の装備を搭載した救助工作車に更新するとともに、災害時の情報収集に有効な災害対応用空中ドローンを配備したことにより、消防体制の充実強化を図ることができた。